

平成22年 6月15日

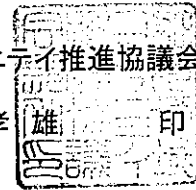
事業の評価書

池田市長 様

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会

代表者名 秦 孝雄 印

記



事業の名称	子供の安全対策事業
事業実施前の状況	数年前に小旗やステッカーを細小で作られたが、老朽化している。
事業実施後の状況	関係諸団体に配布、家や車に付けていただいている。
事業の効果	新しくなったのでよく見え、分かるようになった。
今後の課題等	細河全体が犯罪に目を配るシステムが必要。

平成22年 6月15日

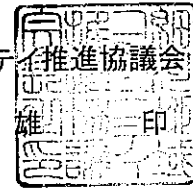
事業の評価書

池田市長 様

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会

代表者名 秦 孝 雄

記



事業の名称	コミュニティ紙発行事業
事業実施前の状況	コミュニティ推進協議会の名前も内容も知らなかった。
事業実施後の状況	今日までに4回発行、4割近くの住民に協議会の認知度がある。2年過ぎ認知度は上がったが、が内容はあまり分かってもらっていない。
事業の効果	活動が始まり2年で協議会の事業内容が、少し分かってもらえたと考える。 予算がなく年2回発行の割には、対費用効果は充分と考える。
今後の課題等	住民全体の認知度を上げるには年4回発行すること、そして内容を子供から高齢者まで楽しめるものにする。

平成22年 6月15日

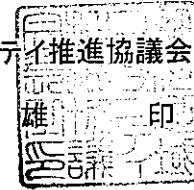
事業の評価書

池田市長 様

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会

代表者名 秦 孝

記



事業の名称	ホームページ管理事業
事業実施前の状況	立上当時のアクセスは少なかった。
事業実施後の状況	ホームページを立ち上げるのに委員会事業を会員で資料収集。
事業の効果	20年11月にホームページ立ち上がり配信を始める。月1度内容変更を行っている。また動画や音声配信を始める 対費用効果は予想以上と考える。
今後の課題等	事業拡大に伴う容量オーバーや問い合わせの対応。

平成22年 6月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会

代表者名 秦 孝 雄

記



事業の名称	ホタル育成事業
事業実施前の状況	昨年6月初旬にホタル観賞会開催
事業実施後の状況	吉田橋西詰めでは、乱舞しているが、久安寺川中川原橋まではまだ少ないが、年々増えている。
事業の効果	畑を借り育成しているので洪水でも幼虫は流されず育つ。 対費用効果は予想以上と考える。
今後の課題等	来観者が増えてきた時の対策が必要。

平成22年 6月15日

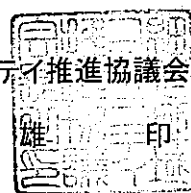
事業の評価書

池田市長 様

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会

代表者名 秦 孝

記



事業の名称	観光振興構想策定事業
事業実施前の状況	会員や住民に観光という認識がなく、植木の町をどのように活気づけて行くのか、売れないのなら見に来てもらう発想。1年間阪大グループと実態調査や検討を重ねる。
事業実施後の状況	阪大加賀准教授のグループと協議会で細河地域の観光について構想策定に取り掛かり、構想図も出来上がり目標ができた。
事業の効果	細河の将来構想図は、短期・中期・長期と計画が出来上がり、少ない予算だが、目的に進んでいける。 対費用効果は想定以上のものとする。
今後の課題等	事業を進めるのはいいが、議会を通す予算であれば、市役所から事業の報告を自治会か広報で詳しく行う必要がある。

平成22年 6月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会

代表者名 秦 孝 雄 印

記

事業の名称	地域観光マップ作成事業
事業実施前の状況	細河のマップは簡単な絵が描かれたマップしかなかった。
事業実施後の状況	細河全家庭に配布、素晴らしいマップと喜ばれている。
事業の効果	マップをもったハイカーや散策に来る人が多くなった。 対費用効果は予想以上の効果と考える。
今後の課題等	細河地域の児童公園にトイレの設置が必要。

平成22年 6月15日

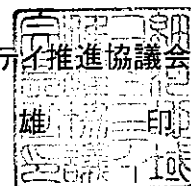
事業の評価書

池田市長 様

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会

代表者名 秦 孝 雄

記



事業の名称	地域活性推進事業(観光案内所運営)
事業実施前の状況	元細河消防分団詰所。来館者は少数であった。
事業実施後の状況	協野菜販売・展示物販売で賛助会員が増加、展示場も充実
事業の効果	天気の良い日は散策やドライブの方が来館、お土産や手作り品が売れる。来館者増加。 対費用効果は予想以上と考える。
今後の課題等	野菜販売の場所が狭く出展者の募集をかけられない。即売日は駐車場がなく苦情が出てきている。駐車場のある場所へ移動が必要。

平成22年6月15日

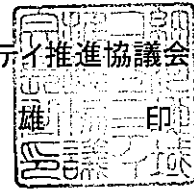
事業の評価書

池田市長 様

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会

代表者名 秦 孝 雄

記



事業の名称	地域活性推進事業（散策路整備）
事業実施前の状況	里道なので地元の人でないと分からない。草刈りや倒木を処理し大変歩きやすくなった。表示板の設置。
事業実施後の状況	表示板の設置はこうひょうで、ハイカーが多くなり倒木などの情報も入るようになった。
事業の効果	春を迎え、散策やハイキングの方が五月校区から来られたり、木部から登られたり利用者が多くなったのと、細河観光計画の具体的な姿が見えてきた。 対費用効果は予想以上と考える。
今後の課題等	行き先看板や散策道整備を今後継続して行う。

平成22年6月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会

代表者名 秦 孝雄 印

記

事業の名称	農園芸リサイクル事業
事業実施前の状況	細河地域は、野焼きが多く剪定枝や生産物を堆肥化する必要がある。
事業実施後の状況	先進地の視察を行い、問題点を整理している。
事業の効果	環境を考えると必要な事業であると感じた。 対費用効果は予想以上と考える。
今後の課題等	環境や植木産業を考えると、地域だけでなく役所と共同して事業を推進して行く必要がある。

平成22年 6月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会

代表者名 秦 孝 雄 印

記

事業の名称	高齢者等配食サービス事業
事業実施前の状況	21年度より実施。
事業実施後の状況	毎週水曜日お昼の配食、現在40食前後で推移、大変喜ばれている。
事業の効果	ボランティア賛助会員とメンバーの方が15名で料理を作ってもらっており、細河全体に広がっており今後も利用者増を考えている。 対費用効果は予想以上と考える。
今後の課題等	週1度でもこれだけの利用者があるので回数を増やすのか、そして調理場所の選定の検討が必要

平成22年 6月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会

代表者名 秦 孝雄 印

記

事業の名称	遊休地活用等整備事業
事業実施前の状況	市管理地
事業実施後の状況	除草作業、整地作業等ボランティア作業を行う。
事業の効果	高齢者の健康と生きがいのための事業である。 対費用効果は予想以上である。
今後の課題等	トイレやベンチの設置

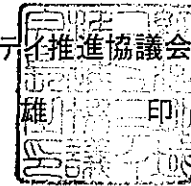
平成22年 6月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会

代表者名 秦 孝



記

事業の名称	健康講座等開催事業
事業実施前の状況	細河地域では事業は無し。
事業実施後の状況	池田市内からの参加者が大半で、紅葉の広がるなかメタボに対する料理や、体の講習、歩き方の実習など行う。
事業の効果	参加者全員が満足してもらった。 対費用効果は予想以上と考える。
今後の課題等	募集の仕方と時期をよく考える。 <i>他の町もと重なる</i>

平成22年 6月15日

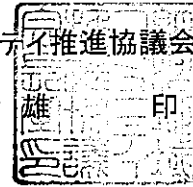
事業の評価書

池田市長 様

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会

代表者名 秦 孝 雄 印

記



事業の名称	レンタサイクル誘致事業
事業実施前の状況	協議会のメンバーも取り組みの方法や支援体制などの内容が分からなかった。
事業実施後の状況	観光には必要なのと事業者の説明を聞き内容がわかり細河には必要な事業と認識した。
事業の効果	細河で事業展開するよう関係機関に要望を行った。 対費用効果は予想以上と考える。
今後の課題等	関係機関と協議を進めつつ、年に1~2回は勉強会が必要

平成22年 6月15日

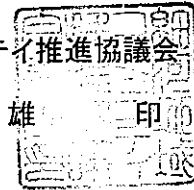
事業の評価書

池田市長 様

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会

代表者名 秦 孝 雄

記



事業の名称	街路灯強化事業(ブルーライト)
事業実施前の状況	農作物に影響があると街路灯は大変少なく、空き巣や車上狙いなどの犯罪がある。ブルーライトは木部地域と梅の木地域に設置
事業実施後の状況	今回は木部町以外の全ての地域で設置、3~7灯なので全体に設置は数年かかる。植木の町にとって地域のイメージ色(植木・農作物にやさしい色)にし、町が少しずつ明るくなり安心安全が目に見えてきた。
事業の効果	設置後各町の評価は好評である。対費用効果は予想以上と考える。
今後の課題等	細河地域全体に設置するには、我が協議会の予算では、蛍光灯化ブルーライトに付け替えが終わり新設するには年5~6灯の設置しかできない。

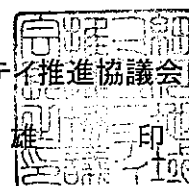
平成22年 6月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会

代表者名 秦 孝 雄



記

事業の名称	校庭芝生自動灌水設置事業
事業実施前の状況	グラウンドの周囲が芝生化され、きれいになり生徒も喜んでいますが、毎日の管理が大変なのと水が大量に必要。
事業実施後の状況	芝生の管理は、自動灌水設置後、動力と水の節約ができた。灌水は夜中に2時に行われ芝生には大変良い環境になったのと、生徒が運動するのにも邪魔にはならない。
事業の効果	景観的にも運動や経費にも最適である。 対費用効果は予想以上と考える。
今後の課題等	残り北側の自動灌水設置